



職 名	教 授
所 属	総 合 科 学 科
フリガナ	ミヤカワ トシハル
氏 名	宮 川 敏 春 tmiya@ge.kochi-ct.ac.jp
学 位	教育学修士（筑波大学 1984）

1. 履 歴

学 歴	1984. 3 筑波大学大学院修士課程教育研究科教科教育専攻学校教育コース修了
職 歴	1976. 4 北星学園余市高等学校（教諭） 1984. 4 北海道士別高等学校（教諭） 1987. 4 釧路高専一般教科（講師） 1990. 1 釧路高専一般教科（助教授） 1998. 4 高知高専 人文科学系（助教授） 2006. 4 高知高専 人文科学系（教授） 2007. 4 高知高専 総合科学科（教授）

2. 講義・委員会等

講義科目	本 科：英語Ⅱ，英語Ⅲ
学内委員会等	1999. 4 - ソフトボール部顧問 2006. 4 - 書道部顧問 2008. 4 - 2010. 3 寮務主事 2010. 8 - 2013. 3 国際交流室長 2010. 4 - 2013. 3 総合科学科副学科長 2013. 4 - 総合科学科学科長

3. 社会的貢献

役員等	1991. 4-1993. 6 ラムサール条約釧路会議地域推進委員会会議委員会委員
公開講座等	1) 「村上春樹の小説の世界」(2014. 8) 南国市共催高知高専教養講座 2) 「マザー・グースの世界」(2013. 8) 南国市共催高知高専教養講座 3) 「現代の日本社会と子ども」(2012. 7) 南国市共催高知高専教養講座 4) 「オーストラリアの現在」(2011. 7) 南国市共催高知高専教養講座

4. 研究活動

専門分野	英語・英米文学 教育学
所属学会	日本教育学会 教育史学会 全国高等専門学校英語教育学会 筑波大学教育学会 筑波大学学校教育学会 日本英文学会

研究テーマ	1) イギリスにおける母国語教育の成立過程に関する研究 2) 青少年教育と文学教材に関する研究 3) 英語教育と国際理解教育の関連性に関する研究
-------	--

主要論文・著書	著書 1) 宮川敏春, 「たぬき藻」のごとく一青年期教育の実践に生きる, 東京図書出版, 全 237 頁 (2014) 2) 宮川敏春, ヴィクトリア朝期の英国とアーノルド父子—文学・教育・時代思潮をめぐって—, 学術出版会(発売・日本図書センター), 全 208 頁, (2011) 3) 宮川敏春, 英国人らしさの理想と教育—ヴィクトリア朝期の訓育と母国語教育を中心に, 日本図書刊行会(発売・近代文芸社), 全 272 頁, (1997)
	学術論文 1) 宮川敏春, 高専の学生寮が本来的に持つ教育的機能をいかに生かすか—高知高専の実践事例紹介—, 独立行政法人国立高専機構論文集「高専教育」第 33 号, pp.697-702, (2010) 2) 宮川敏春, アーノルドと <i>Sohrab and Rustum</i> —非詩的時代におけるカタルシスの試み, 高知工業高等専門学校学術紀要第 54 号, pp.29-44, (2009) 3) 宮川敏春, Talbot Baines Reed と子ども観— <i>The Fifth Form at St. Dominic's</i> を中心に, 高知工業高等専門学校学術紀要第 53 号, pp.31-43, (2008) 4) 宮川敏春, 高知高専における「海外英語研修」の実践と課題, 平成 19 年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催教育教員研究集会講演論文集, pp.267-270, (2007) 5) 宮川敏春, 『ニューボルト・レポート』に見る母語教育の思想—階級統合とジェンダー・ギャップを通して, 高知工業高等専門学校学術紀要第 52 号, pp.33-44, (2007) 6) 宮川敏春, 高知高専における「海外英語研修」の実践と教育的意義, 独立行政法人国立高等専門学校機構論文集「高専教育」第 29 号, pp.475-480, (2006)